

# 秋の防災(避難・消火・救命)訓練は休止。 しかし、コロナV・台風・地震に休みなし 防災計画や避難所運営にプロジェクト発足

町内会は、9月会合で三密が回避出来ない、従来形式の防災訓練を休止することにしました。しかし、7月の熊本豪雨に見られるように、コロナ禍での自然災害がより一層悲惨な被害をもたらすことを認識させられた。遅れている防災対策の備品対応や北郷東会館の避難所運営マニュアル作成などを

## 第二回区長会議の報告

9月16日、第二回区長会議が開催され、6月以降の各部活動が報告されました。夏の行事が中止となる中で、交通部・防犯部が地域の安全確保のために地道なパトロール活動を進めています(写真…左下)。恒例の敬老記念品は、喜寿90名・米寿33名・90歳以上92名で合計215名にお届けしました。また、「子どもSOS/110番の家」登録が6名増えて106件となりました。東会館休業に伴う道の「休業支援金」30万円と道と市から「持続化特別支援金」10万円の申請が認められました。自主防災関係では、防災計画PJ(詳細別)発足の関連でD地区担当の統括副本部長が交代し、水戸健吉監事が務めることになりました。

具体化していきます。役員会はこの課題を進めるにあたって「防災計画プロジェクト」(責任者中山防犯部長・写真下)を設置し、関係する実施要領を作成することになりました。技術的知見をお持ちの会員さんや区長さんの意見もいただき、プランを準備していきます。

## 役員選考委員について

次期役員推薦作業を行なう選考委員を選任しました。A地区5区土田孝博、B地区6区齊藤準基、C地区13区野村友広、D地区30区浦瀧裕嗣、E地区21区日下部明、F地区24区藤 孝の各区長と、現役員会からは長井(総務部長)本間(青少年部長)丸橋(広報副部長)の9名です。



8月7日 夜間パトロールに出発



第一回防災計画プロジェクト会合

## 北郷小学校体育館・避難所の準備状況を見学しました



北郷小屋上の太陽光パネル群と上田教頭

太陽光電気の切替配電盤

## 秋の一斉大掃除は 10月25日(日)

詳しくは回覧板で



2018年秋の大掃除(4区の皆さん)

北郷東会館は毎月一回休館日を設定します。  
**10月11日(日)は休館日となります。**

理由:会館管理人の勤務条件改善のため。なお、葬儀等の緊急利用は優先対応し、休館日を変更することがあります。

1シーズン計10回(12月下旬~3月上旬)

# シーズン排雪 33,600円(税込)



株式会社モリタ住建では、シーズン中は、シーズン中毎週1回、全部で10回排雪に来てくれるよ!

立地条件により価格が前後する場合があります。

## 株式会社 モリタ住建

〒003-0833 北郷3条5丁目10-10  
TEL011-874-8180 FAX011-874-8181

0120-171-417

## 北郷地区・3避難所の現状 (2020.8現在、広報部調べ) 数字等は変化することがあります

項目	避難所名	北郷小学校	北白石地区センター	北郷東会館
避難所の位置づけ		指定緊急避難所(基幹)	地域避難所(公設)	地域避難所(民間)
施設管理者		校長先生	地区センター運営委員会	町内会長
運営者・スタッフ		市の職員・教員	同上	管理人・町内会役員
協力者		ボランティア		町内会員
総計収容人数*1		約1,500人程度	約170名程度	約50名程度
収容人数(集合)		約500人(体育館)	約120人(体育館)	約40名(2Fホール)
収容スペース		約1000人(教室他)	約50人(3室)	約10人(2室)
車中泊対応		可	不可	不可
ペット対応		可(玄関)	検討	不可
補助電源 1 *2		太陽光発電(2400w)	太陽光パネル(200w)	検討中
補助電源 2		発電機(2.5KVA)	発電機(4.0KVA)	小型発電機(200w)
優先機器		TV・夜間照明・通信	水道モーター	未定
水道(揚水)		モーター(不可)	モーター(発電機)	直管
補助水源		地下貯水槽(水道局)	なし	なし
災害時連絡機器		無線電話機(市本部)	なし	なし
備蓄:宿泊		寝袋(300)	寝袋(5)	寝袋(10)
寝具		毛布(350)	毛布(16)	毛布(10)
ダンボールベット		あり	なし	なし
備蓄:食料 *3		アルファ米(850食)	なし	アルファ米(300)
飲料水		貯水槽	災害自販機(250)	500ml飲料水(300)
備蓄:衛生品 *4		非接触体温計(3+)	非接触体温計(5)	非接触体温計(1)
簡易トイレ		便座(20)+消臭凝固剤	非常用トイレ袋セット	なし
接触感染予防QR		未	玄関正面	ロビー他

\*1 施設の収容人数は、コロナ対策の基準(3~4㎡)を参考に推測した数字です。  
\*2 停電時の補助電源は、昼間の太陽光と夜間の発電機を想定しました。  
\*3 小学校の食料備蓄品はクラッカー類もありますが、基本は市の補給対応となります。  
\*4 衛生用品の備蓄内容は、施設の日常保管分のレベルと思われます。